

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	今回、家族アンケートの結果より「きちんと挨拶できる職員とそうでない職員がいる」との回答を得た。共に利用者を支えていく立場にある家族との関係構築における第一歩でもある接遇・マナーができていないという現実があった。早急に改善する必要がある。	家族とのより良い関係を築き、共に利用者を支えていく	・挨拶の基本を徹底する(挨拶は、立ち止まり・相手の目を見て・優しくはっきりした言葉・笑顔で行う) ・利用者の状態をきちんと把握し、正しい情報を家族に伝えていく	3ヶ月
2	60	外出機会においては個人差が大きい。身体状態や家族の協力によるところが大きい。どの利用者に対しても本人の意向を確認しながら出来るだけ均等に外出の機会を持つていただけるような支援が必である。	どの利用者においても、最低でも1か月に1回は外出できる	・外出支援計画を立て、職員の意識統一を図る(行先・メンバー・手段・担当、等) ・計画実行のための日程・業務調整を行う、と共に利用者の健康管理をしっかりと行う ・家族にも協力を得る	12ヶ月
3	64	施設開所当初から付き合いのある馴染みの人や地域の方々も高齢化し以前のような頻繁な訪問はない。地域の方々との交流の機会を増やし、ホームのことを知っていただく機会を増やしていく必要がある。	常に地域に開かれたホームであることを意識し行動する	・外出支援を兼ねて地域行事へのより積極的な参加を行う ・ホーム内の行事等へも参加を呼び掛ける ・七夕用の笹や門松用の竹等の切り出し依頼は今後も継続させていただき地域との交流を継続していく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。